

**津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
2013年度 部会活動計画案**

(2013年3月25日作成)

所管委員会	研究統括委員会	委員長： 若松 加寿江
部会名	避難の課題の調査・分析部会	部会長名： 久田嘉章
設置期間	常置（または2013年4月～2014年3月）	
設置目的	東京に代表される大都市におけるマルチハザード（火災・津波・洪水・高潮・帰宅困難者などによる大群衆など）に対する避難問題を検討する	
これまでの 具体的成果 (2012年度までの 活動成果を含む)	2011年東日本大震災における東京の被害状況や、国や東京都などの自治体、新宿駅周辺地域などのエリア単位で行われている地震被害想定・地域防災計画・条例などの事前の避難計画や対策を調査している。また参加委員が都市の避難問題に関する研究内容を紹介し、2013年度に予定している報告書や報告会に向けた内容や分担の調整を行った。	

2013年度 活動計画	<p>1. 下記の内容を要旨とする報告書をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、名古屋、大阪、京都など大都市における様々なハザードに対する避難計画の現状調査 ・新宿駅周辺地域など事業者や住民によるエリア単位の防災計画と、駅周辺滞留者・帰宅困難者の退避行動に関する検討 ・東京低地における津波・火災・洪水・帰宅困難者などが同時発生した場合の避難シミュレーションの実施 ・大災害時における大都市の避難問題に関する提言、など <p>研究委員会として実施する以下の発表会等で成果を公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地震工学会大会におけるOSでの成果発表 ・日本地震工学会論文集における特集号への論文・報告の投稿 ・HPでの報告書の掲載 ・年度末での講演会・シンポジウムでの成果発表 		
委員数	16名	開催予定数	6回
WG等の活動計画 開催予定数			

「2013 年度 日本地震工学会各委員会」アクションプラン

委員会名称	津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
小委員会名称(必要に応じて)	避難の課題の調査・分析部会

担当理事	若松 加寿江
------	--------

平成 25 年 3 月 22 日現在

実施月	活動計画	実施結果	備考
2013 4月	委員による研究紹介、報告書の分担検討		
5月			
6月			
7月	委員による研究紹介、報告書の分担決定		
8月			
9月	委員による報告書案の提示・調整		
10月			
11月	大会OSへの参加、報告書原稿の提出・内部査読・修正		
12月			
2014 1月	修正原稿の提出、最終調整		
2月			
3月	報告書の完成、講演会での成果発表、論文集・特集号への投稿		
4月			
5月			

備考：定期的な活動、特別な活動についての補足、などを記載